

はじめに

皆さんは占いと聞いてどんなイメージを持たれますか？

- ・怪しい
- ・ツボを買わせれそう
- ・何かに勧誘されるんじゃないか？
- ・宗教
- ・洗脳
- ・そもそも目に見えないものだから信用できない
- ・怖い
- ・「当たる」「当たらない」だけのお遊び など

私も占いの勉強をするまでは同じようなイメージを抱いていました。

怪しいと感じる反面、ただのお遊びというイメージが強かったように思います。

多くの方がそのような捉え方で、雑誌、ネット、或いは中華街のような観光地等で占いを経験していると思います。それはそれでも良いと思いますが、占いを勉強して行く内に、もっと活用しないと勿体ないと思うようになりました。

この本を読んでいたいただいた皆様、特に落ち込みさんに、何か占いに対する考え方や捉え方に変化があったら良いなと思います。

今回、折角このような機会を与えていただけただけのだから、占いを当てる・当たらないだけで判断している人や、占いは怖いと思っている人等に、占いは活用するもの、前を向けるものと、占いに対する考え方が変わったと思ってもらえるように、私の占いに対する思いを書いてみました。

この世に生を受けて、色々な経験や困難があつたとしても、皆この先、幸せになりたいと思つて人生を歩いていると思います。

先が見えない不安を、全て占いで進んだ方が良いと言っているわけではなく、絡んでどうしようもなくなつてしまつた糸を、また元の真つ直ぐな糸にするお手伝いが占いでできると思っています。

真つ直ぐな糸に戻つたら、また何かをその糸で作るのは自分自身です。素敵な作品を作るのか、ほころびを直すのか、それはあなたが決めるのです。

特に、落ち込みやすい人は、絡んだ糸を自分で解くことができず、その糸を目の前にして途方に暮れている人が多いいと思います。そのような人には是非参考にしていただけたら嬉しいのです。

占い&心理カウンセラー

みゆう